



土曜授業 「天売学」 天売の歴史と自然を学びました。

5月16日(土)に土曜授業「天売学」(歴史I・自然I)の授業が行われました。

歴史Iでは、本校5期生で天売島在住の森脇洋三さんを講師としてお招きし、天売高校ができた当時の様子や戦後の物がない時代の暮らしぶりなどについてお話をいただきました。話の中で森脇さんは、厳しい時代を生き抜いて天売を築いてきた先人の苦勞を忘れないでほしいと、強い思いを込めて語ってくださいました。



自然Iでは、天売の海鳥研究室から佐藤信彦さんに、漁業と海鳥の関係について講義をしていただきました。世界の海鳥によって消費される魚の資源量が世界の漁獲量とほぼ同じであるという説明を聞き、皆で天売の漁業の在り方について考えさせられました。

島内清掃 「天売クリーン作戦」

4月18日(土)、天売小中高3校合同で島内のゴミ拾いを行う、「天売クリーン作戦」が実施されました。天売小中学校体育館で出発式を行い、作業区域やゴミの分別等を確認した後、5班に分かれて島内主要道路沿いおよびフェリーターミナル付近のゴミ拾いを実施しました。落ちていたゴミは毎年減ってきているようですが、缶やペットボトルを中心に各班3~5枚のゴミ袋をいっぱいにしていました。生徒は高い美化意識をもって作業にあたり、「ゴミを拾って観光客に喜んでもらえるような島にしたい」、「これからも目に入ったゴミは拾う努力をしたい」という感想を述べていました。



天売学「観光I」 島内一周清掃

4月25日(土)、今年度第一回目となる土曜授業「天売学」を実施しました。観光地の保全活動を通じ、観光の在り方について考察するという目的で、5月の連休を前に島の観光スポットの一つである赤岩展望台の清掃を行うとともに、ゴミ拾いをしながら島を一周歩きました。

生徒は訪れた人が気持ちよく景色を見られるように、赤岩展望台の手すりを濡らした雑巾で心を込めて丁寧に拭いていました。また、この展望台は夕方薄暗い中で利用する人が多いため、安全に利用できるように気を配り、ほうきやスコップで階段にたまった土を除去しました。



展望台清掃終了後はゴミ拾いを行い、大量のゴミを学校まで運びました。最後に、島を一周しながら感じた観光地の保全活動について、各自ワークシートに考察をまとめていました。

水産実習 今年も始まりました！ 第1回目は「赤ガレイ燻製」

今年度最初の水産実習である赤ガレイの燻製づくりが5月11日(月)から2日間にわたって行われました。1日目はカレイの下処理作業と味付け作業を行い、魚の洗浄・ウロコとり・内蔵の除去等の下処理をしたカレイを、測りとった塩などとともに丸1日樽漬けして終了しました。



続く2日目はテング掛けを行いました。テングと呼ばれる棒にカレイを吊るし、燻製室に入れる作業です。カレイの大きさに合わせて1~2週間、煙と風をかけて乾燥させ最後に表面を磨くと、あめ色に透き通った赤ガレイ燻製の完成です。両日も、生徒たちは慣れた手つきで手際よく作業を進めていました。この赤ガレイの燻製は、9月の天高祭などでお披露目できる予定です。お楽しみに。



バドミントン教室 ～今年も吉田仁さんに来ていただきました～

今年も天売体育協会主催のバドミントン教室が5月16日(土)・17日(日)の2日間にわたり開催され、MMOA スポーツの吉田仁さんを講師として迎えました。

高校からはバドミントン部3名、卓球部1名の全校生徒4人が参加しました。

序盤は反復横とびなどフットワークの練習や高く上がったシャトルを筒でキャッチする練習、後半はバックハンドの打ち方や3点先取のミニゲームなどを行いました。



小学生から高校生まで幅広い参加者がいる中、皆で和気藹々とバドミントンを楽しむことができました。

バドミントン部の3名は、全道大会で吉田仁さんに教わったことを発揮できるよう、最終調整をがんばってもらいたいです。

役員認証式・生徒総会 ～今年度の目標は？～

4月23日(木)に役員認証式と生徒総会が行われました。今年

度は各学年のHR委員長のみの認証でしたが、新HR委員長の2人はよりよいクラス作りのために尽力してくれるはずです。

生徒総会においては、昨年度の後期行事反省や今年度の前期行事計画について議論が行われました。それぞれ自分の役割をこなしながら、協力して議事を進めている生徒たちの姿は非常に頼もしく、今年度の生徒会活動も非常に期待できそうです。



春季避難訓練 ～常に迅速な行動がとれるように～

5月13日(水)、春季避難訓練を行いました。火災を想定し、外に避難する予定でしたが、雨天のため避難場所を体育館に変更し実施しました。この日は宮城県沖で最大震度5の大きな地震が早朝にありました。消防署の吉崎分遣所長さんへの生徒代表謝辞のなかで3年生の坂本翔くんはその地震について触れ、「災害はいつ起こるかわからないので、それに備えるためにも避難訓練は大切だと思います。」とお礼を述べました。



図書係より ～お勧めの本～『死ぬときに後悔すること25』(天売高校蔵書)

著者は大津秀一という緩和医療医。私がこの本に興味をもった理由は、同じ題材でオーストラリアの女性看護師が書いた本をテレビで見たからです。「あんなに働かなければよかった。」「自分の気持ちを伝えておけばよかった。」など、シンプルな5つを紹介していました。『死ぬときに後悔すること25』には、宗教観や人生観の違いからか、「子どもを結婚させておけばよかった」というものがある点が興味深かったです。しかし、お国柄や宗教観に違いがあっても、人は死ぬときに、同じようなことを心残りに思う傾向があるようです。後悔のない人生を歩みたいものです。興味のある方は、天売高校までどうぞお越しください。